

鳥取市立美保南小学校 6年生 藤原 心暖

私は普段、小学校の登下校は徒歩、それ以外は、自転車に乗ることが多いです。

私は、最近ニュースで、小学生が巻き込まれる交通事故のニュースをテレビでよく目にします。身近ではないと思っていた交通事故ですが、今年度になり、集団登校をしていた際、交通事故を見かける場面がありました。ニュースでは、よく目にしていて、自分には関係ないと思っていた交通事故が、目の前で起こり、とても怖くなりました。その場面にそうぐうしたことをきっかけに、今まであまり意識していなかった集団登校の大切さを考えるようになりました。今までは、交通事故にあわないから大丈夫、関係ないと思っていましたが、現在は、絶対に安全ということではなく、いつ、どこで、だれが、どのような事故にあってもおかしくないと考えるようになりました。また集団登校についても、今までは、下級生を上級生がただ見守っているだけでいいと思っていました。しかし、そうではなく、交通事故を防いだり、安心・安全に下級生が登校できるように防犯も含め、とても意味があることにも気づきました。

その他にも、登校途中にある信号機で、一時停止をしたり、左右をみたり、手をあげて渡ったりすることの重要性など、今まであまり意識していなかったことも、命をまもるために、とても、重要なことだと改めて分かりました。

また、自転車の乗り方についても、危ないと思うことがあります。私は、遊びに行くときや習い事に行くときに、よく自転車に乗ります。その時、ヘルメットを被っていない人をよく見かけます。私も、今までは、暑いから、かっこ悪いから、友達が被っていないから別にヘルメットを被らなくてもいいじゃないのかと思うことがよくありました。しかし、両親が頭を守らないと命が守れないからと口うるさく言うので、仕方なく被っていました。今まで私は、その意味がよくわかっていなかったのも事実です。もし、ヘルメットを被らずに車とぶつかったらどうなるのか、事故にそうぐうしたことを通して、登下校の集団登校含め、交通に関することを考える機会となりました。ヘルメットを被らないで事故にあったら頭を打ち、出血をしたり、骨折をしたり後遺症が残ったりしてしまいます。最悪の場合、命を落としてしまいます。世の中のルールは、何でと疑問に思うことがたくさんあるけど、ルールの背景には何か重要な意味があると思います。

集団登校、ヘルメット着用についても、つながりがないようだけれど、交通という視点で考えてみると密接に絡み合い、命を守る重要なポイントということにも気づきました。当たり前のことを当たり前にやる。とても簡単そうだけれど難しいことです。

私は今後、今まで通りルールを守り、自分や下級生の命を守りたいと思います。